

研究課題番号	5-2002
研究課題名	環境化学物質の複合曝露による思春期の健康影響評価と曝露源の検討
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	北海道大学
研究代表者名	池田 敦子

1. 委員の指摘及び提言概要

様々な環境化学物質の思春期における男児、女児への曝露（複合曝露を含む）に関して、膨大な化学分析や曝露解析の結果に基づいて長期の環境影響評価を実施した重要な研究である。また、それらの発生源について日用品などの化学物質曝露実態の評価をした貴重な知見が得られており、今後の環境政策への貢献が期待できる。水道水や血液中のPFAS測定はチャレンジングで、エコチル調査結果などを基にPFAS等の健康影響解明へと展開することが期待される。なお、二次性徴発来との関係を議論する際には、臨床的变化を元にした二次性徴指標と生化学的指標の意味の違いを明確にして、後者が正常・異常の診断基準と受け取られないような配慮が必要である。

2. 採点結果

評価ランク：A